

## Chapter II. 調査結果

### 1. 消費者問題に対する関心度

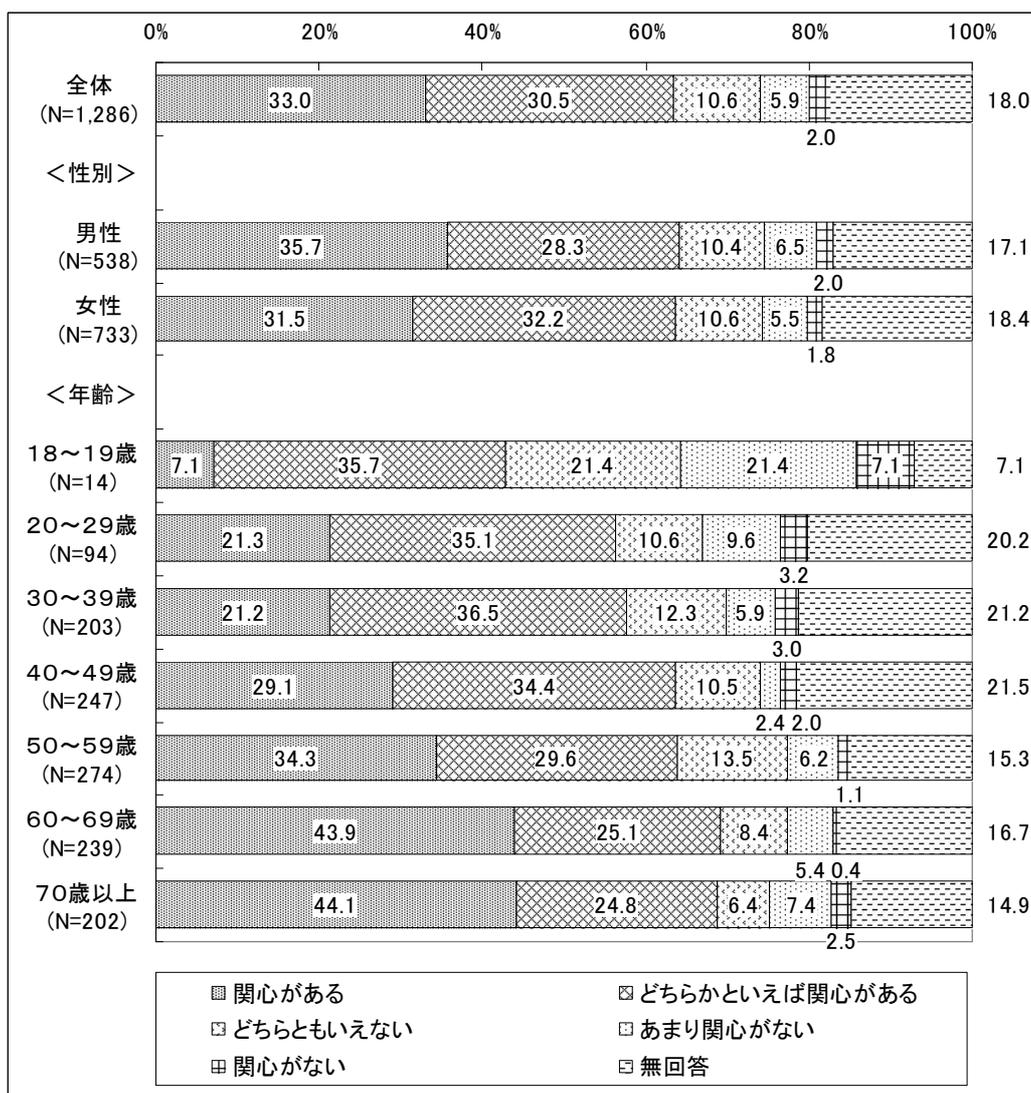
#### (1) 消費者問題全般に対する関心度

消費者問題全般に対する県民の関心の有無をみると、全体では「関心がある」が33.0%、「どちらかといえば関心がある」が30.5%と、関心度（「関心がある」割合＋「どちらかといえば関心がある」割合）は63.5%となっている。

一方、「あまり関心がない」は5.9%、「関心がない」は2.0%と、無関心度（「あまり関心がない」割合＋「関心がない」割合）は10%弱となっている。

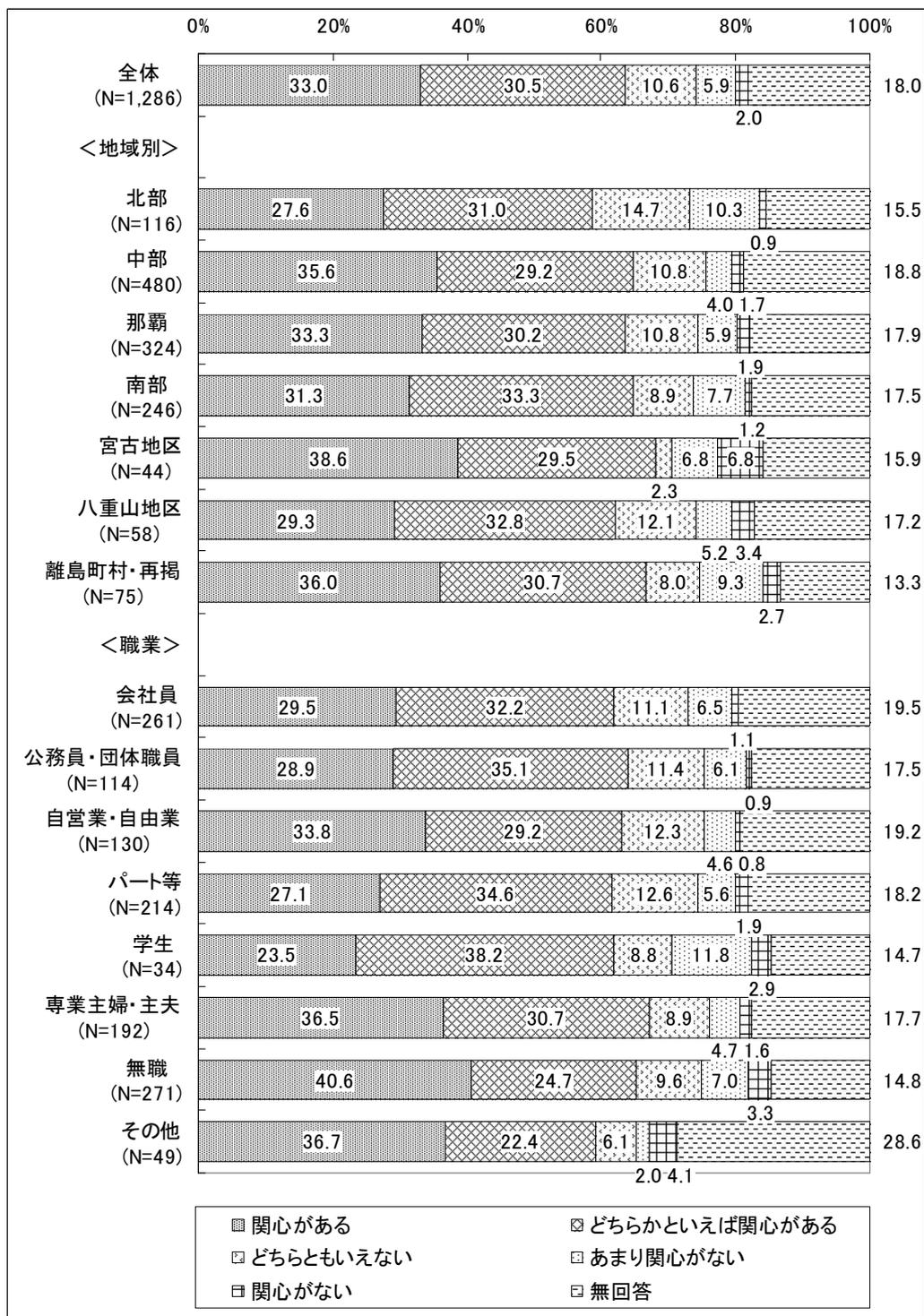
性別では男女とも同様の傾向がみられ、年代別では、30代以下の関心度が低く、特に10代の関心度が低くなっている。40代以上では「関心がある」割合だけをみると、年齢の上昇に伴いその割合は高くなり、60代以上では40%強となっている。

図表9 性別、年代別にみた消費者問題全般に対する関心度



職業別では、パート・アルバイト・非常勤・嘱託・派遣など（以下、パート等）や学生では、「関心がある」割合が他の職業と比べて低くなっている。

図表 10 地域別、職業別にみた消費者問題全般に対する関心度

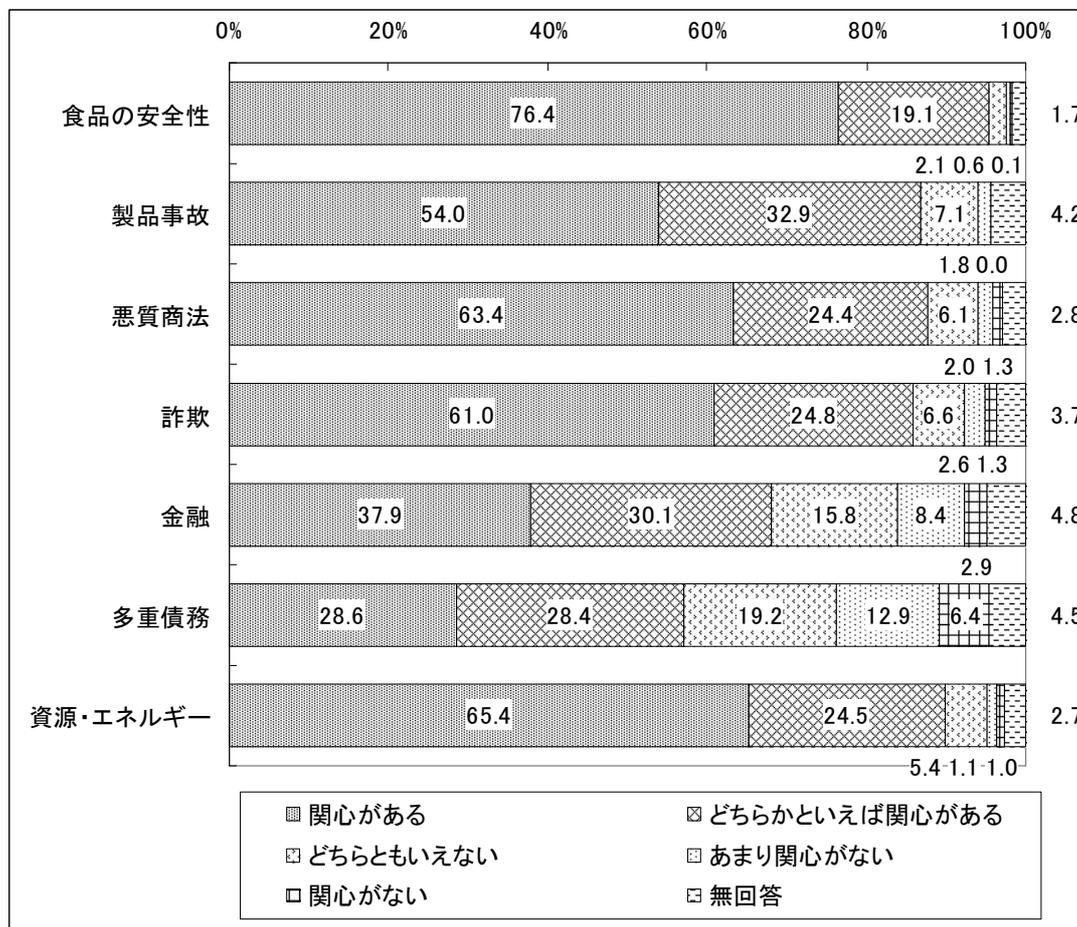


(2) 様々な消費者問題に対する関心度

個別の消費者問題に対する関心度をみると、関心度がもっとも高い問題は『食品の安全性（食中毒事故、偽装表示等）』で、「関心がある」（76.4%）、「どちらかといえば関心がある」（19.1%）を合わせると95.5%となっている。

2番目に関心度が高い問題は『資源・エネルギー』（ガソリンや灯油の価格、光熱費等）で関心度は89.9%、3番目は『悪質商法』（強引な電話、訪問での勧誘等）で87.8%、以下『製品事故』（製品の欠陥による事故、製品のリコール等；86.9%）、『詐欺』（架空請求・不当請求、振り込み詐欺；85.8%）、『金融』（投資・保険・融資等の金融商品に関する問題；68.0%）となっており、もっとも関心度が低いのは『多重債務』（サラ金、クレジット等）で57.0%となっている。

図表 1 1 様々な消費者問題に対する関心度

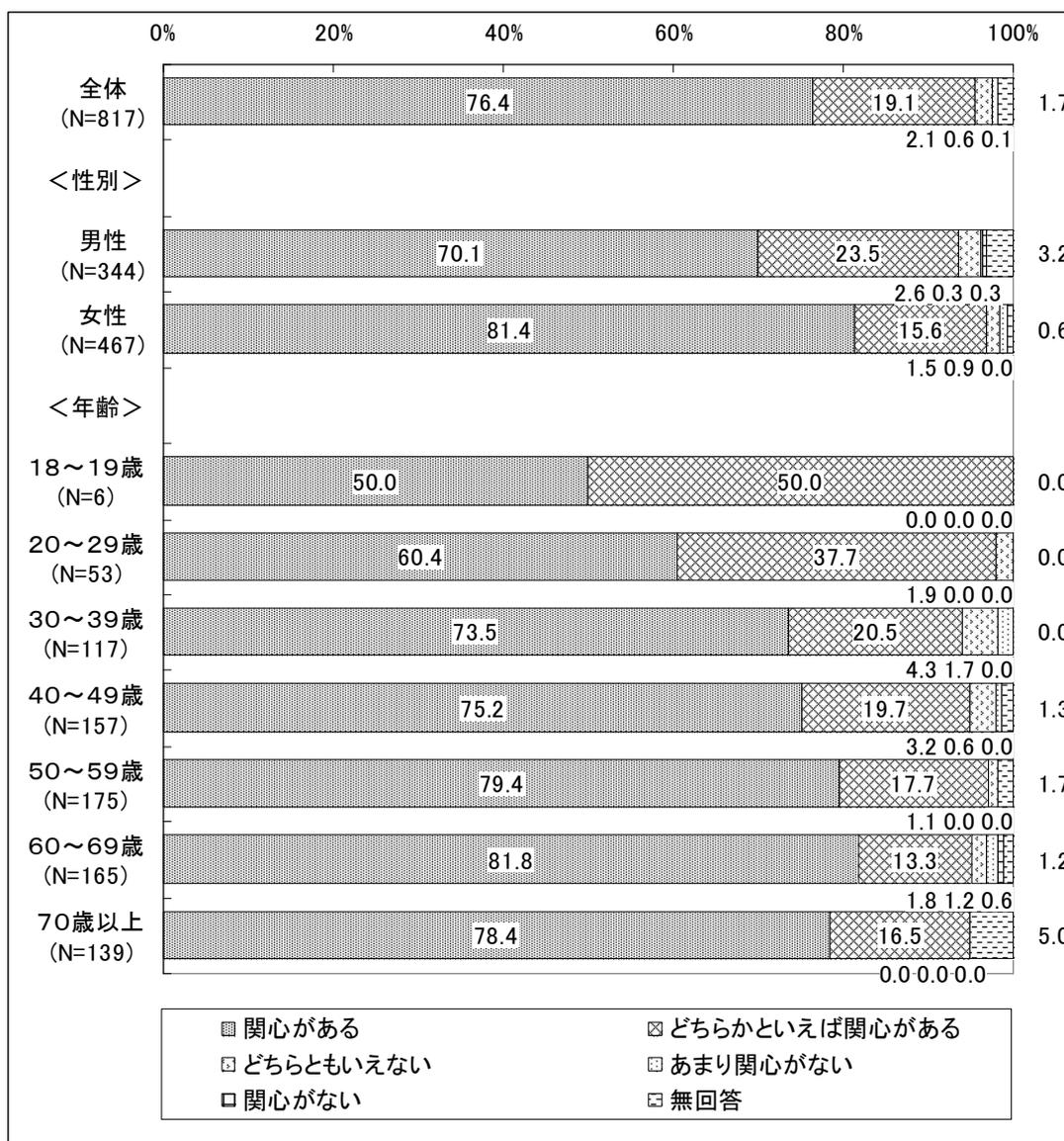


① 『食品の安全性』に対する関心度

『食品の安全性』の関心度を性別で見ると、男性よりも女性の方が関心度は高い。

年代別でもいずれの年代も関心度は94%以上を占めているが、「関心がある」割合だけを見ると、20代では60.4%と他の年代よりも低くなっている。年齢の上昇に伴い「関心がある」割合も高く、60代では80%を超えている。

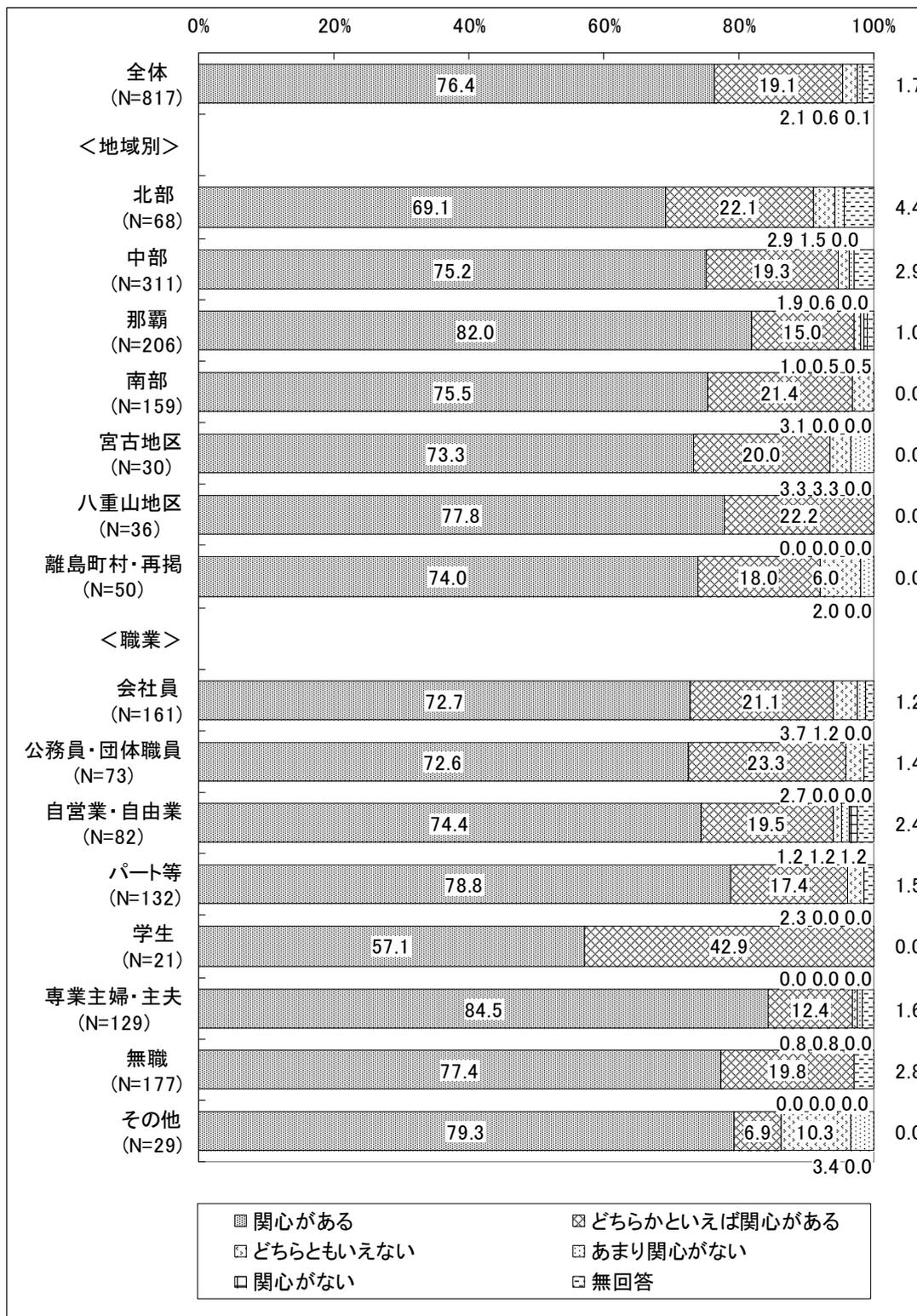
図表 1 2 性別、年代別にみた『食品の安全性』に対する関心度



地域別では、おおむねいずれの地区においても関心度は高く 90%を超えている。ただし、「関心がある」割合だけをみると、北部では 69.1%と低くなっている反面、那覇では 82.0%と高くなっている。

職業別では、その他を除き関心度は 90%を超えているが、「関心がある」割合だけをみると、学生は 57.1%と他の職業と比べて低く、専業主婦・主夫は 84.5%と高くなっている。

図表 13 地域別、職業別にみた『食品の安全性』に対する関心度

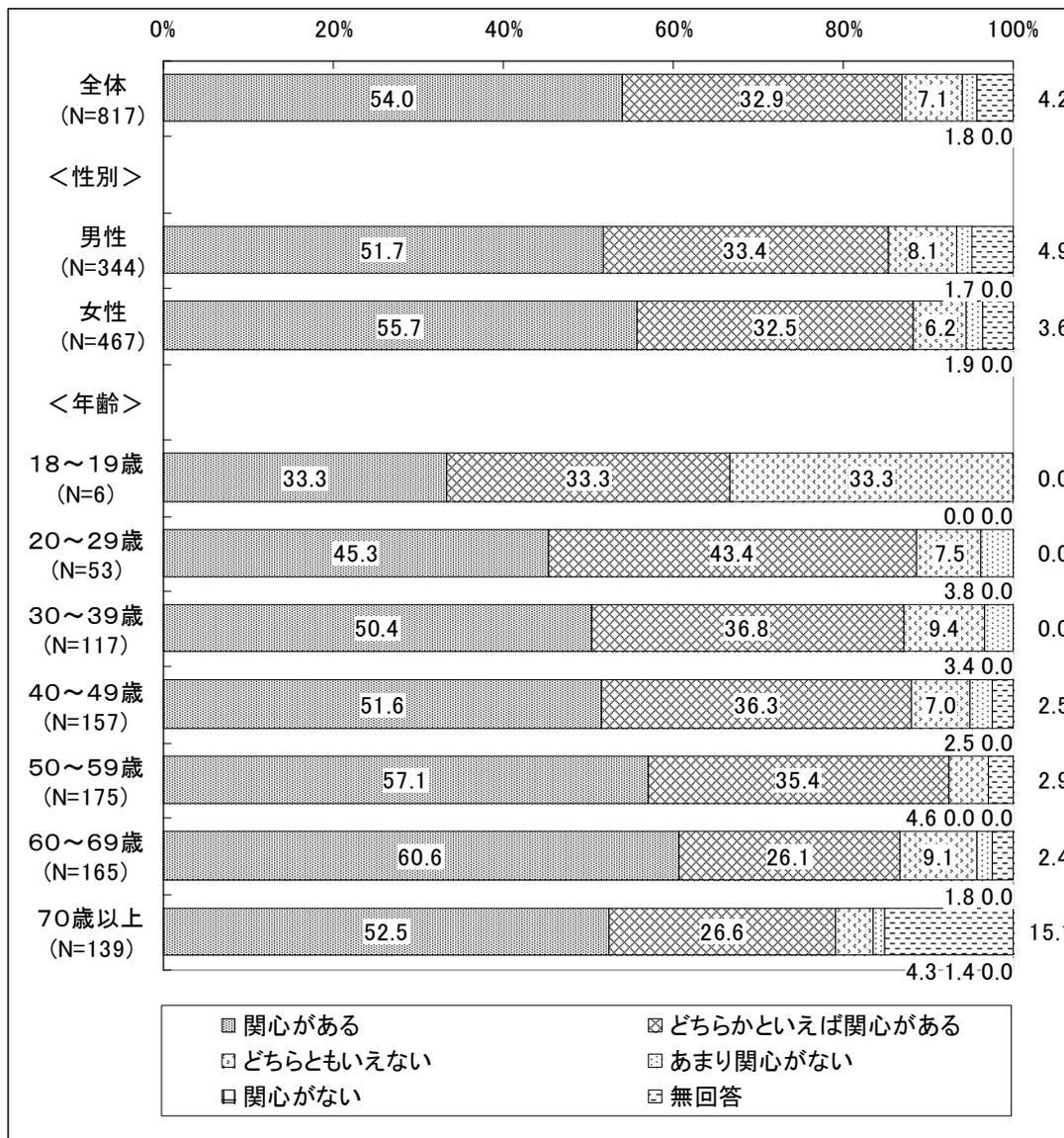


② 『製品事故』に対する関心度

『製品事故』の関心度を性別でみると、男性よりも女性の方が関心度は高い。

年代別では、20代～60代で同程度の関心度となっているが、70歳以上では関心度は80%を下回っている。

図表14 性別、年代別にみた『製品事故』に対する関心度

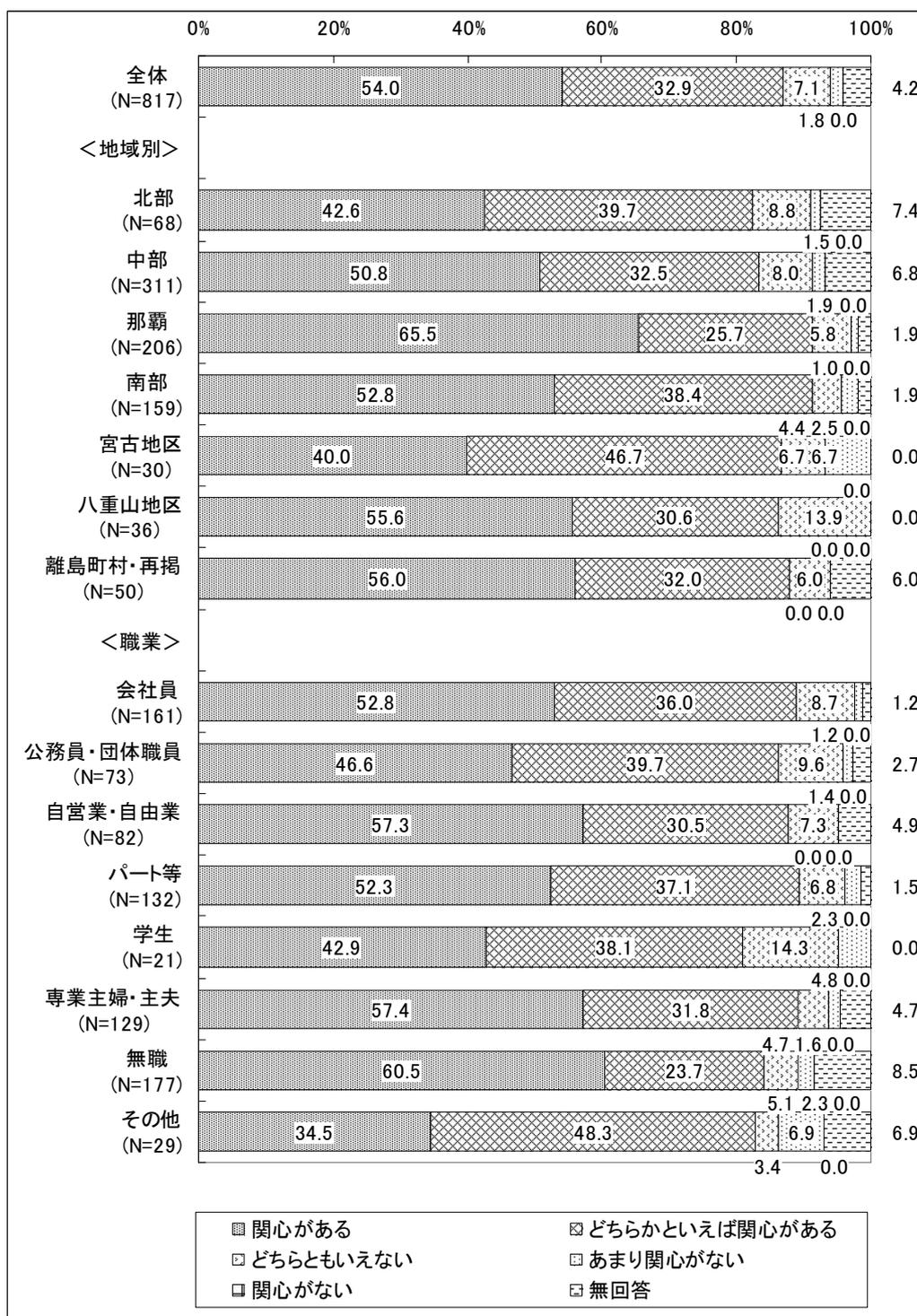


地域別では、おおむねいずれの地区においても関心度は80%を超えており、特に那覇や南部では関心度が90%を超えている。

なお、北部及び中部では他の地区と比べて関心度が低く83%程度となっている。また、北部や宮古地区については、「関心がある」割合が40%程度と他の地区に比べて低くなっている。

職業別では、おおむねいずれの職業においても関心度は85%程度となっているものの、学生では関心度が低く、特に「関心がある」割合は42.9%と他の職業に比べても低くなっている。

図表 15 地域別、職業別にみた『製品事故』に対する関心度

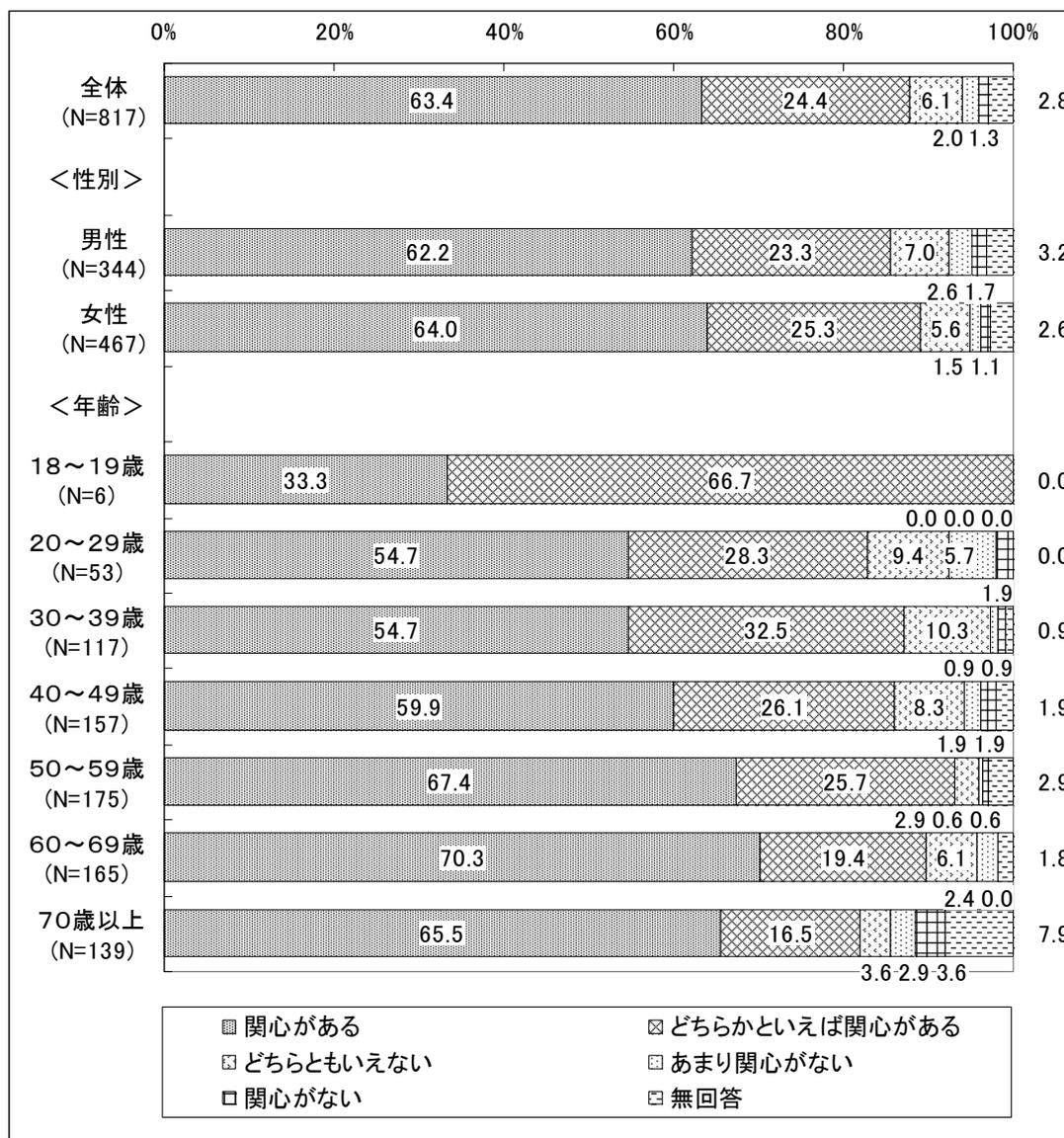


③ 『悪質商法』に対する関心度

『悪質商法』の関心度を性別で見ると、男性よりも女性の方が関心度は高い。

年代別では、20代～50代までは年齢の上昇に伴い関心度も高くなる傾向にあるが、60代からは関心度が低くなり、70代の関心度は20代とほぼ同じとなっている。

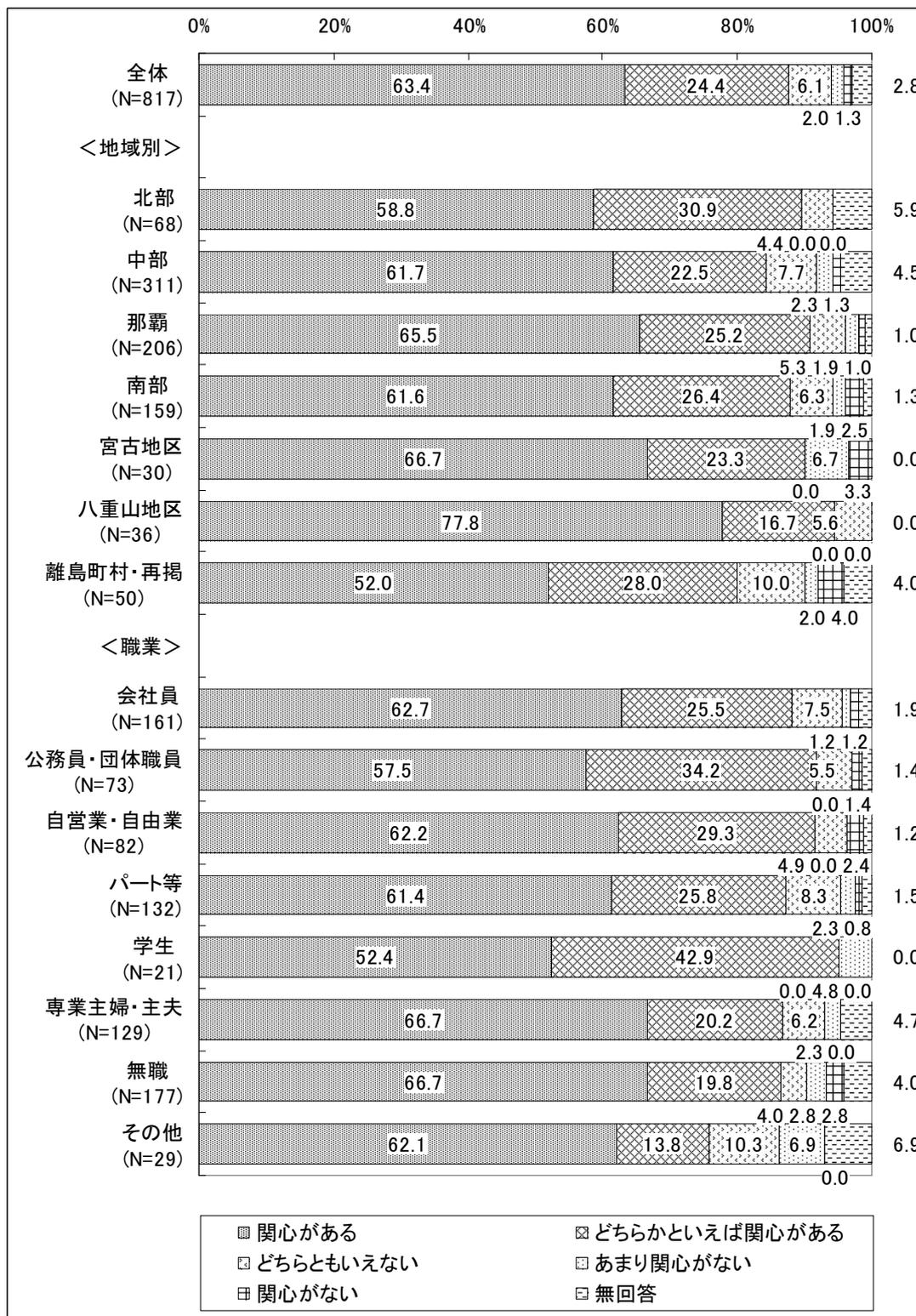
図表16 性別、年代別にみた『悪質商法』に対する関心度



地域別では、いずれの地区も同程度の関心度となっているが、離島町村だけでみると関心度が80.0%、「関心がある」割合も52.0%と、他の地区と比べて関心度は低くなっている。

職業別では、学生の関心度がもっとも高く95%を超えている。学生以外の職業では、その他を除いて同程度の関心度となっている。

図表17 地域別、職業別にみた『悪質商法』に対する関心度

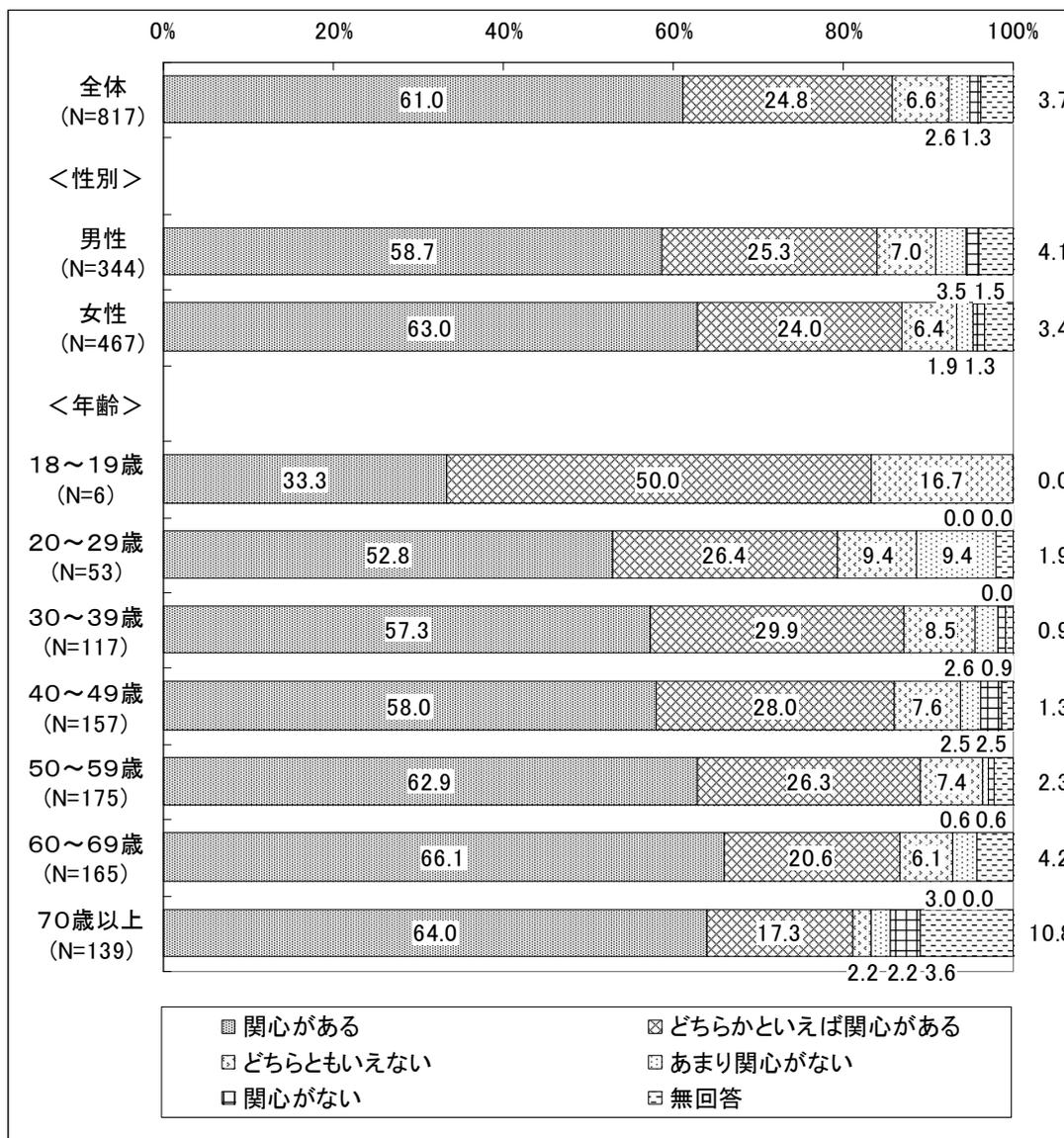


④ 『詐欺』に対する関心度

『詐欺』の関心度を性別で見ると、男性よりも女性の方が関心度は高い。

年代別では、20代以下や70歳以上の関心度が他の年代に比べて低くなっているが、その他の年代は同程度の関心度となっている。

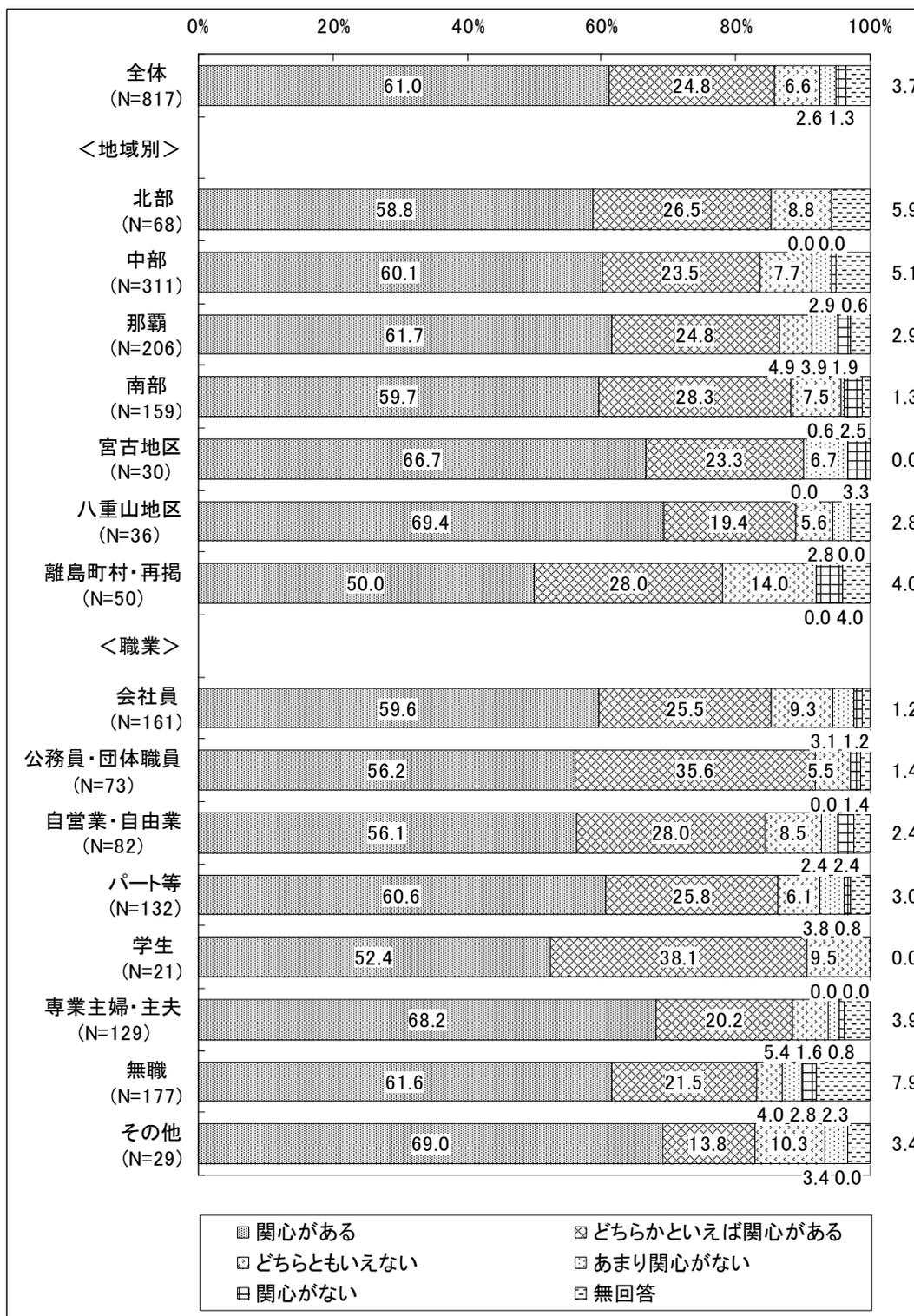
図表18 性別、年代別にみた『詐欺』に対する関心度



地域別では、離島町村の関心度が78.0%、「関心がある」割合も50.0%と、他の地区と比べて関心度は低くなっている。

職業別では、公務員・団体職員や学生の関心度が高く90%を超えている。公務員・団体職員や学生以外の職業では、その他を除いて同程度の関心度となっているものの、「関心がある」割合は専業主婦・主夫が68.2%と、その他の職業に比べて高くなっている。

図表19 地域別、職業別にみた『詐欺』に対する関心度

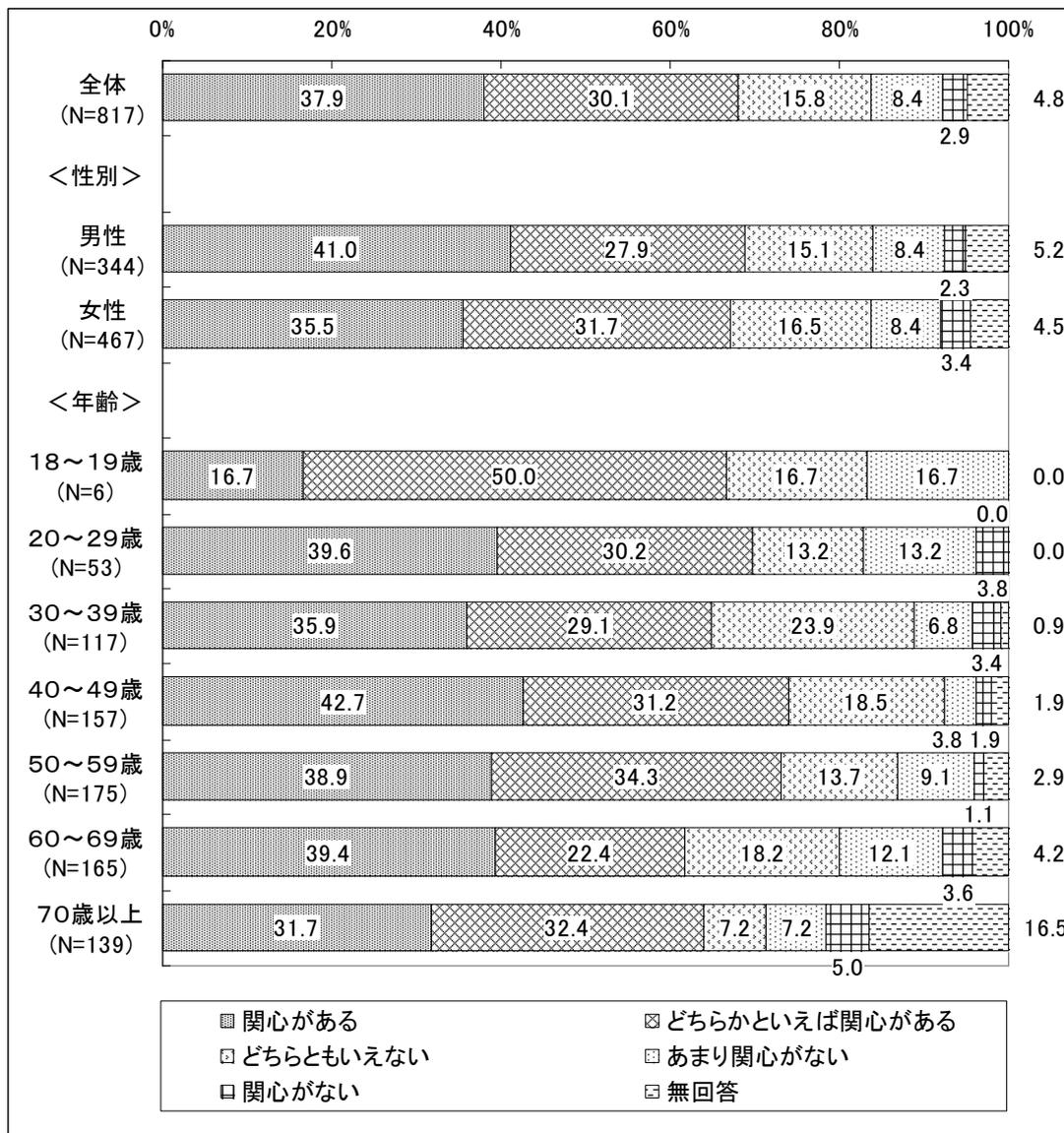


⑤ 『金融』に対する関心度

『金融』の関心度を性別でみると、女性よりも男性の方が「関心がある」割合が高い。

年代別では、40代～50代で関心度が70%強と他の年代に比べて高くなっている。

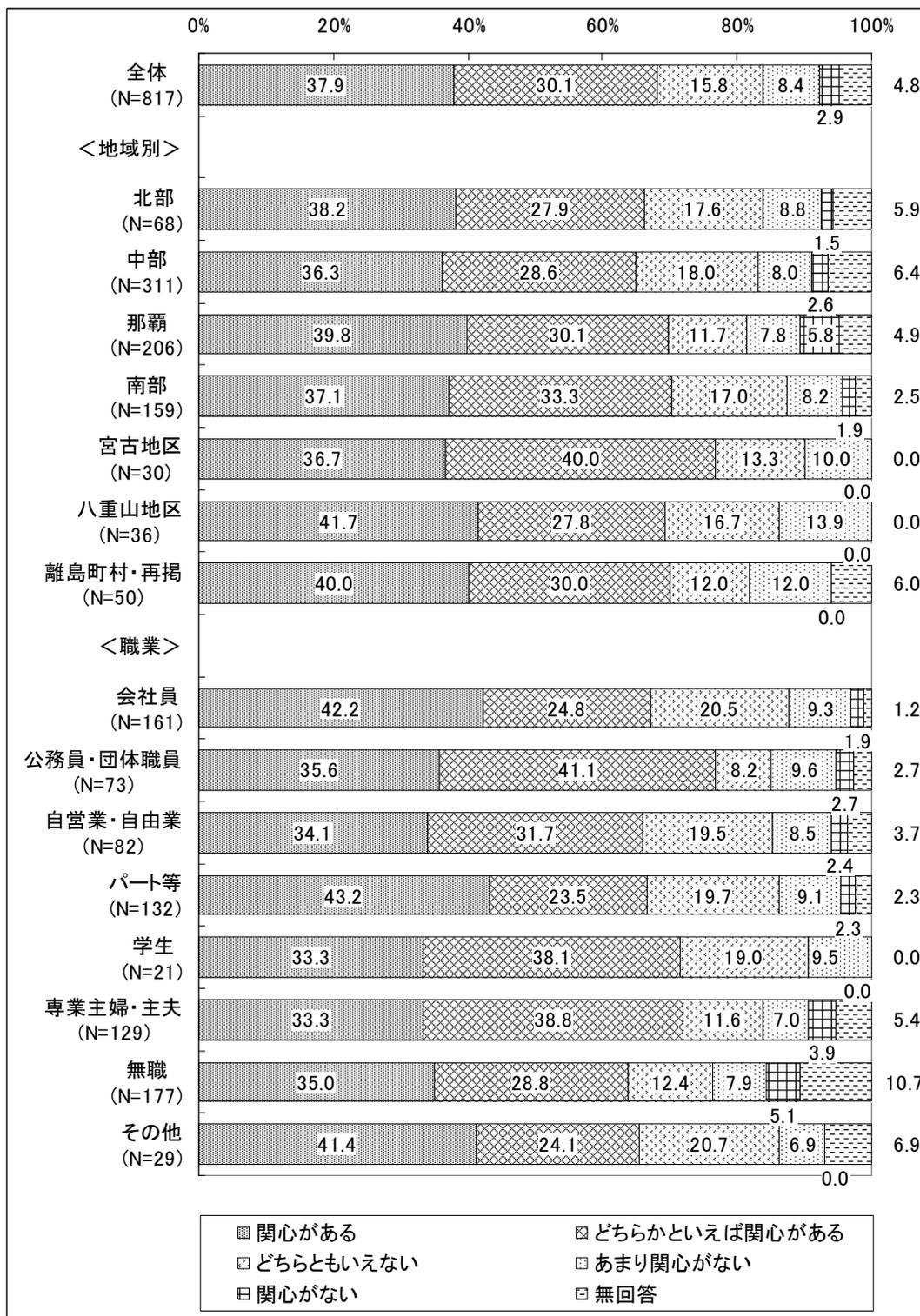
図表20 性別、年代別にみた『金融』に対する関心度



地域別では、いずれの地区も関心度が65～70%程度となっているが、宮古地区は76.7%と高くなっている。

職業別では、公務員・団体職員の関心度が高く75%を超えている。公務員・団体職員以外の職業では、同程度の関心度となっているものの、「関心がある」割合は会社員やパート等で他の職業を上回っている。

図表2-1 地域別、職業別にみた『金融』に対する関心度

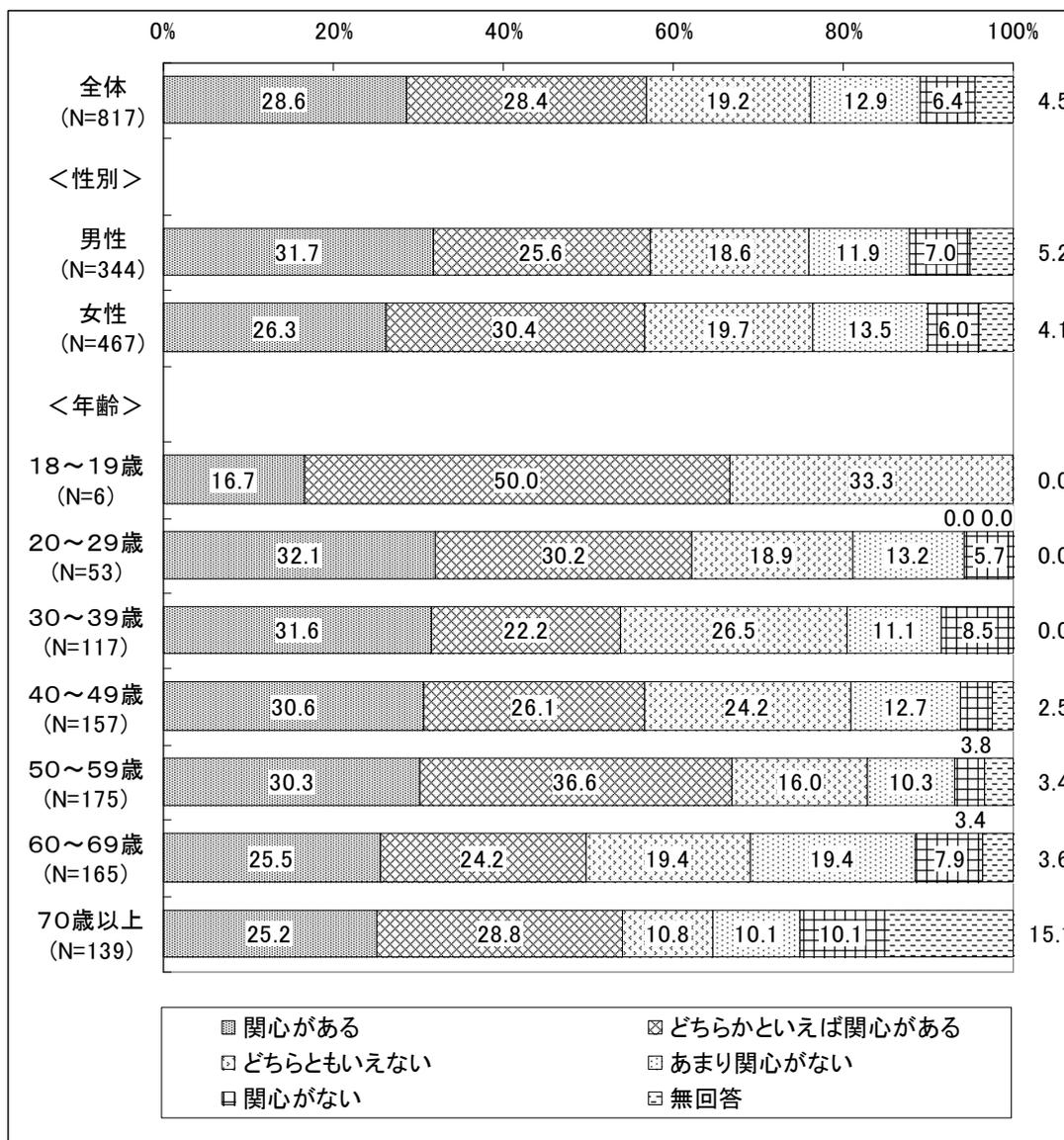


⑥ 『多重債務』に対する関心度

『多重債務』の関心度を性別でみると、女性よりも男性の方が「関心がある」割合が高い。

年代別では、50代で関心度が66.9%と他の年代に比べて高くなっている。

図表 2 2 性別、年代別にみた『多重債務』に対する関心度

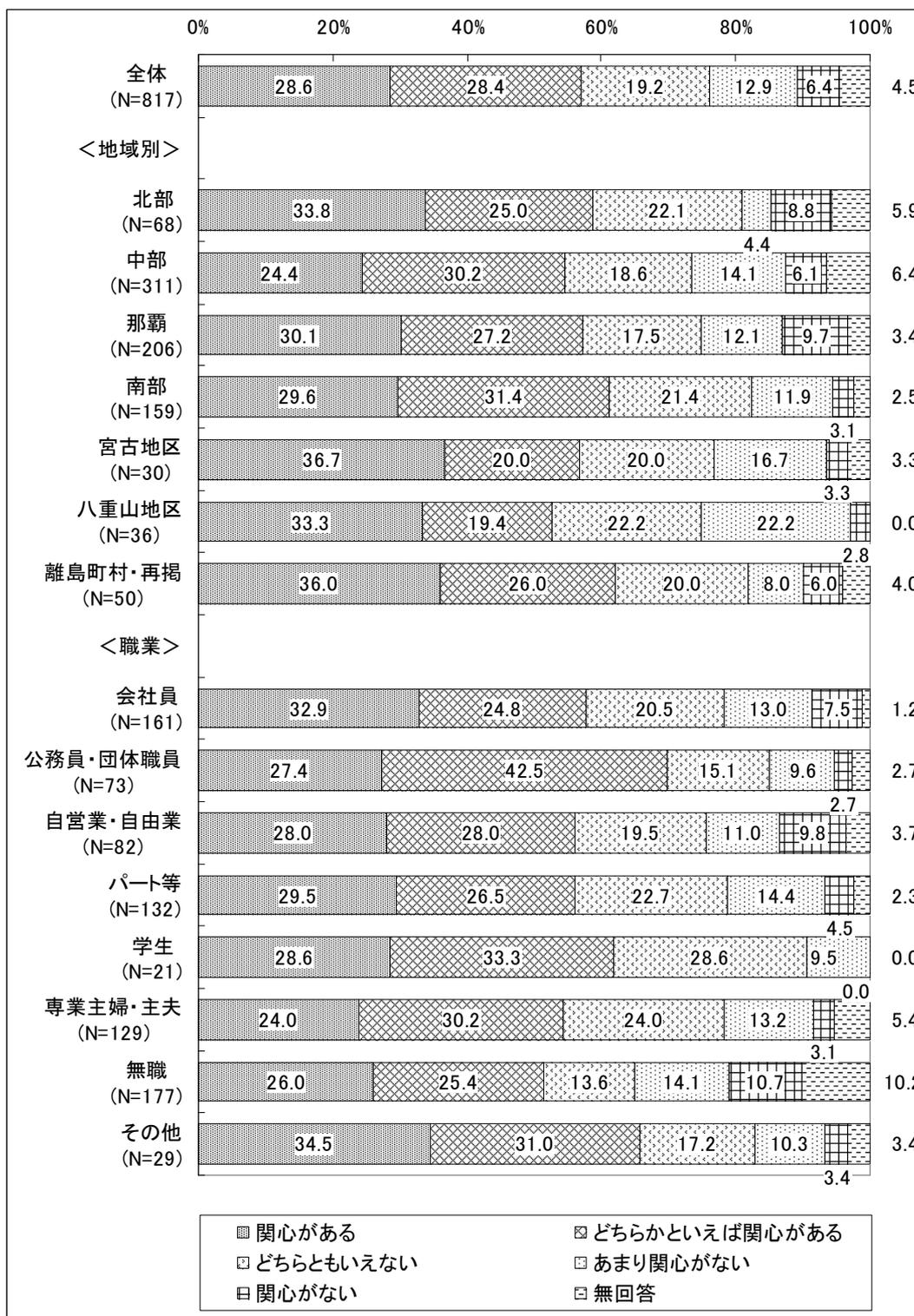


地域別では、南部、離島町村の関心度が高く 60%を超えているが、八重山地区の関心度は 52.7%と他の地区と比べて低くなっている。

職業別では、公務員・団体職員の関心度が高く 70%を占めている。公務員・団体職員以外の職業では、学生の関心度が 61.9%と高くなっている。

専業主婦・主夫や無職では関心度が低く 50%程度となっている。

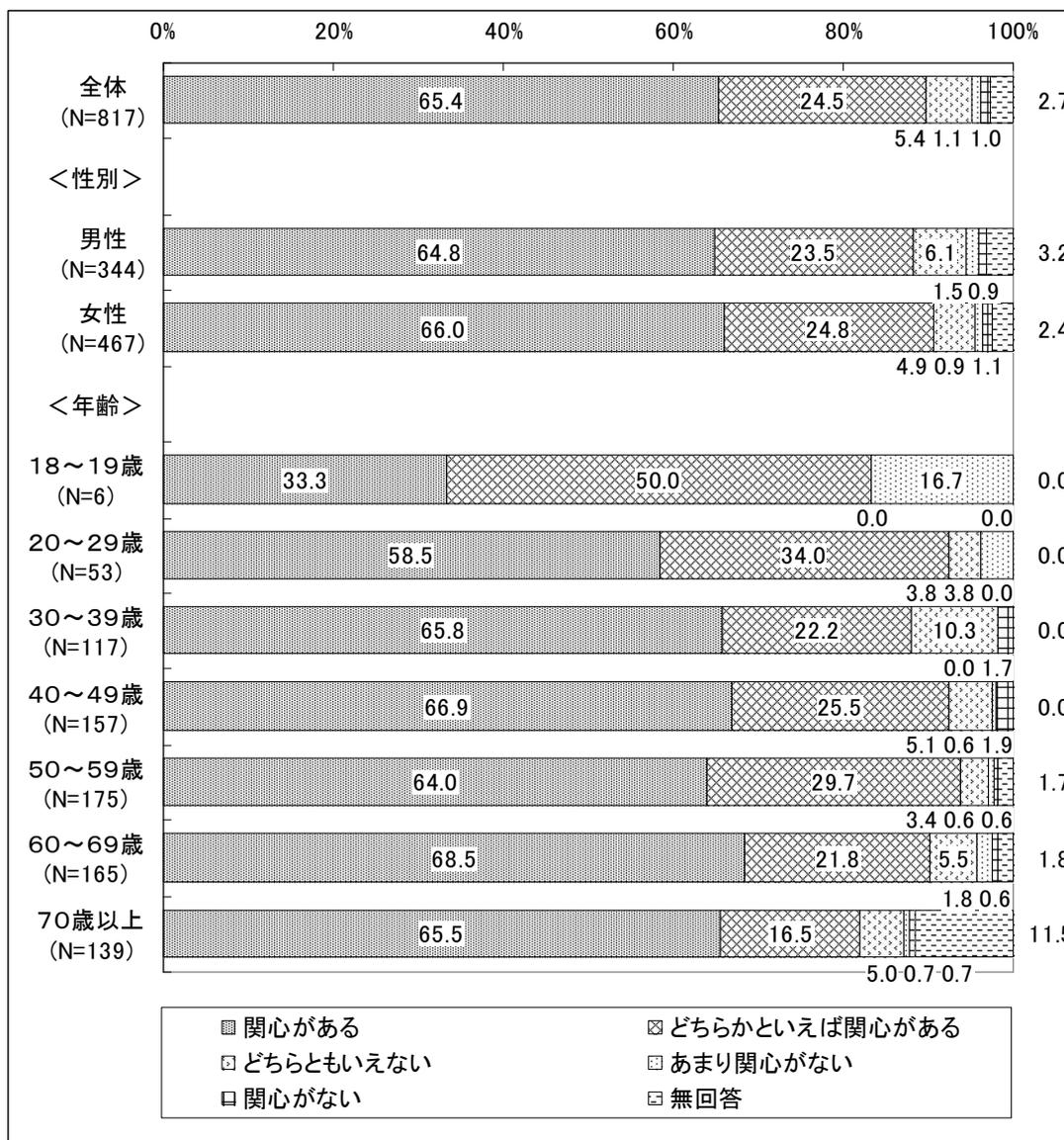
図表 2-3 地域別、職業別にみた『多重債務』に対する関心度



⑦ 『資源・エネルギー』に対する関心度

『資源・エネルギー』の関心度を年代別で見ると、いずれの年代においても関心度が高く約90%を占めているものの、70歳以上では80%程度となっている。

図表24 性別、年代別にみた資源・エネルギーに対する関心度



地域別では、いずれの地区においても関心度が約90%と高くなっており、特に宮古地区や離島町村では「関心がある」割合が70%を超えている。

職業別では、おおむねいずれの職業でも関心度が約90%と高くなっており、特に専業主婦・主夫では「関心がある」割合が70%を超えている。

図表25 地域別、職業別にみた資源・エネルギーに対する関心度

